

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
12121	介護事業所サービス提供体制確保事業	福祉推進部	介護保険課	2
12121	社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援金支給事業(介護事業所)	福祉推進部	介護保険課	3
13231	低所得者利用者負担対策事業	福祉推進部	介護保険課	4
13231	離島移送費支給事業	福祉推進部	介護保険課	5
13231	法改正等に伴う介護システム開発事業	福祉推進部	介護保険課	6
13231	給付費支給事務事業	福祉推進部	介護保険課	7
12121	知識普及啓発及び市民説明事業	福祉推進部	介護保険課	8
13231	第一号保険料賦課調定検収事業	福祉推進部	介護保険課	9
13231	第一号保険料収納管理事業	福祉推進部	介護保険課	10
13231	介護認定申請管理事業	福祉推進部	介護保険課	11
13231	精度監視訪問調査事業	福祉推進部	介護保険課	12
13231	訪問調査委託事業	福祉推進部	介護保険課	13
13231	住所地特例等訪問調査委託事業	福祉推進部	介護保険課	14
13231	主治医意見書作成手数料支払事業	福祉推進部	介護保険課	15
13231	介護認定審査会事業	福祉推進部	介護保険課	16
13231	介護サービス等諸費支払事業	福祉推進部	介護保険課	17
13231	介護予防サービス等諸費支払事業	福祉推進部	介護保険課	18
13231	審査支払手数料支払事業	福祉推進部	介護保険課	19
13231	高額介護サービス等費支払事業	福祉推進部	介護保険課	20
13231	特定入所者介護サービス等費支払事業	福祉推進部	介護保険課	21
13231	高額医療合算介護サービス等費支払事業	福祉推進部	介護保険課	22
13231	住宅改修支援事業	福祉推進部	介護保険課	23
13231	介護給付適正化事業	福祉推進部	介護保険課	24

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	総務	連絡先	948-6840	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	松本 昌也	担当	西森 一博	

1.事業概要【Plan】

事業名	介護事業所サービス提供体制確保事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
12121							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える福祉を充実する						
施策	高齢者福祉の充実		—	—	—	—	
主な取組	住み慣れた地域で暮らせる環境づくり	根拠法令	新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業実施要綱				
取組みの柱	在宅生活の支援						
目的・背景	介護サービスは、要介護等の高齢者やその家族にとって、住み慣れた地域における生活を支えるために必要なものであることから、介護サービス事業所等に対し、新型コロナウイルス感染症の影響を減らすため、通常の介護サービスの提供時では想定されない、かかり増し経費等を要した場合、その経費の支援を行うことにより、必要な介護サービスを継続して提供することを目的とする。						
対象・内容	松山市内の感染者が発生した介護事業所等に、サービス継続に必要な消毒、衛生用品の購入、人員確保に必要な費用等のかかり増し経費に対して補助を行い、職場環境の復旧・改善の支援を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	補助金		128,428
予算 (千円)	事業費計	51,240	146,760	0					
	国費・県費	46,850	137,520	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	4,390	9,240	0					
決算 (千円)	事業費計	46,612	128,518			主な 取組 内容 【R5】	・新型コロナウイルス感染症が発生した介護事業所等に、サービス継続に必要な経費に対し補助を行った。		
	国費・県費	28,518	128,253						
	市債	0	0						
	その他	46	1						
	一般財源	18,048	264						
	(執行率)	91%	88%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	補助金の支給法人(累計)		目標	6	93	—	—	新型コロナウイルス感染症の対応状況に応じ補助金を支出したため。	
			実績	42	116				
	単年で増	法人	達成率	700%	124.7%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山市内の感染者が発生した介護事業所等に、新型コロナウイルス感染症に関する補助金を支給することにより、事業所の職場環境の復旧・改善の支援や負担軽減を図ることができた。							
課題	特になし					今後の 方向性	終期到来による廃止	左記の 理由	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	総務	連絡先	948-6840	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	松本 昌也	担当	上岡 修	

1.事業概要【Plan】

事業名	社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援金支給事業(介護事業所)	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
12121							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	暮らしを支える福祉を充実する		—	—	—	—	
施策	高齢者福祉の充実		—	—	—	—	
主な取組	住み慣れた地域で暮らせる環境づくり	根拠法令	社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援交付要綱				
取組みの柱	在宅生活の支援						
目的・背景	原油価格の高騰等による電気・ガス料金を含む物価の高騰は、社会福祉施設等の運営に大きな影響を与えている。社会福祉施設等に対し、支援金を交付することによって安定的な福祉サービスの提供の確保を図る。						
対象・内容	【交付対象】 介護事業所1,158事業所(入所系302施設、通所系311施設、訪問系545施設)に支援金を交付 【交付額】 71,070千円(交付額:入所系12万円、通所系6万円、訪問系3万円)						

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険対策費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	事業所への補助金		71,070
予算 (千円)	事業費計	127,569	73,961	0					
	国費・県費	127,569	73,961	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	0	0					
決算 (千円)	事業費計	119,845	71,666			主な取組 内容 【R5】	各社会福祉施設等に対し、入所系施設は12万円、通所系施設に対しては6万円、訪問系施設に対しては3万円を交付。		
	国費・県費	119,845	71,666						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	0	0						
	(執行率)	94%	97%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.1	0.0					
	合計	0.1	0.2	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	支援金の支給事業所		目標	—	1,158	—	—	対象事業者に申請書を送付し、未申請事業所へは申請を促したため、ほぼ全ての事業所へ交付できた。	
			実績	1,168	1,153				
	現状維持	事業所	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	物価高騰の影響で様々な困難に直面した事業所に対し、速やかに支援金を交付することで、一定の支援を行うことができた。							
課題	特になし					今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	物価高騰への対策のため一時的な支援のため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6885	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	池田 幸正	松本 紗織

1.事業概要【Plan】

事業名	低所得者利用者負担対策事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業実施要綱等				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	・低所得で特に生計が困難である者について、利用者負担を減免する社会福祉法人に対して助成を行う(平成12年度から実施)。 ・離島地域(離島振興対策実施地域)での訪問介護の利用者負担額の一部を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図る。 (旧中島町との合併により、平成16年度から実施)						
対象・内容	≪対象≫ ・低所得で特に生計が困難である者について、利用者負担を減免する社会福祉法人 ・離島地域で訪問介護の利用者負担額の一部を軽減する訪問介護事業者 ≪内容≫ ・利用者が、市に対して、利用者負担軽減対象確認申請書を提出し、市は、内容確認をした上で、確認証を交付する。その後、利用者負担額の軽減を行った社会福祉法人に対し、軽減額の一部を助成する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険対策費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	低所得者の利用者負担 軽減等		3,226
予算 (千円)	事業費計	3,175	3,729	3,948					
	国費・県費	2,380	2,796	2,960					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	795	933	988					
決算 (千円)	事業費計	3,042	3,226			主な 取組 内容 【R5】	・申請のあった低所得者に対する軽減確認 証の交付 ・年間の軽減額が一定の条件を満たした社 会福祉法人への助成		
	国費・県費	2,281	2,418						
	市債	0							
	その他	0							
	一般財源	761	808						
	(執行率)	96%	87%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	適切な処理(支払)回数		目標	1	1	1	1	-	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業者説明会等を通じて、制度の周知を図っているため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	低所得者及び離島に居住している者への助成は必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	阿部 梓	松本 紗織

1.事業概要【Plan】

事業名	離島移送費支給事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	7:その他	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	松山市介護保険離島移送費支給要綱				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	離島地域(離島振興対策実施地域)に居住する者が、施設入所及び短期入所生活介護等を受けるため、居住している島以外の介護保険施設等へ移送されるとき、利用者に対し、移送費を支給することにより、離島居住者へのサービス提供の確保及びサービス利用の促進を図る(旧中島町との合併により、平成16年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ 離島地域に居住しており、施設入所及び短期入所生活介護等を受けるため、居住している島以外の介護保険施設等へ移送される者及びその付添人。(ただし、付添人に係る費用は、運転手を除き1名分を限度とする) ≪内容≫ 定期航路を利用して、ショートステイ又は施設サービスを利用した場合、支払った旅客運賃・料金等にかかる実費を支給する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険対策費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	離島からの移送費☒		289
予算 (千円)	事業費計	625	574	548			主な 取組 内容 【R5】	離島地域居住者が介護保険施設等へ移送された時の移送費の支給	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	625	574	548					
決算 (千円)	事業費計	132	289			特記 事項	新型コロナウイルス感染症の流行等を要因として、施設利用者が減少したため。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	132	289						
	(執行率)	21%	50%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2					
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	-	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業者説明会等を通じて、制度の周知を図っているため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	離島に居住している者への助成は必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	総務	連絡先	948-6840	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	松本 昌也	担当	上田 剛士	梶原 優

1.事業概要【Plan】

事業名	法改正等に伴う介護システム開発事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実						
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法等				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険制度の改正等に適正に対応するために介護保険システムの改修や機器の更新を行い、介護保険事業の円滑な実施やシステムの安定稼働を確保することを目的とする。						
対象・内容	介護保険システムについて法改正等に対応するための改修・開発等の委託を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料		53,456
予算 (千円)	事業費計	0	110,086	97,212			備品購入費	7,414	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	110,086	97,212					
決算 (千円)	事業費計	0	60,887			主な 取組 内容 【R5】	介護保険システムの機器更新に関する機器 設定業務 介護保険法改正に伴うシステム改修業務		
	国費・県費	0	5,200						
	市債	0							
	その他	0							
	一般財源	0	55,687						
	(執行率)	0%	55%						
人役	正規職員	0.0	3.0	2.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.0	3.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	介護システムの機器更新業務の進捗割合		目標	-	100	-	-	機器更新業務は令和5年度の単年度で完了する業務のため。	
			実績	-	100				
	現状維持	%	達成率	-	100				
成果指標	介護保険法改正に伴うシステム改修の進捗割合		目標	-	100	100	100	介護保険法改正対応による改修(令和5年12月補正)は完了。令和6年度にも法改正による改修の必要があるため。	
			実績	-	100				
	現状維持	%	達成率	-	100				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	介護保険システムの機器更新や法改正によるシステム改修などを適正に行うことができた。							
課題	介護保険法改正によるシステム改修が令和6年度も必要になる。国が示した標準仕様書に準拠したシステムへの移行が義務付けられ令和7年度未までに行う必要があることから介護保険システムの構築が必要になる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護保険法改正によるシステム改修は必要であるため。国が示した標準仕様書に準拠したシステムの構築を行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	高橋 通夫

1.事業概要【Plan】

事業名	給付費支給事務事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実		—	—			
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法第41条				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護サービスに対する介護給付費等の支給事務を円滑に実施する(平成12年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ ・要介護(要支援)認定者(高額介護サービス費の対象見込者、負担限度額認定の申請者等) ・国民健康保険団体連合会(第三者行為求償事務、給付費伝送システム保守に関する手数料の支出先) ≪内容≫・介護サービスに対する介護給付費等の支給に関する事務費(高額介護サービス費・高額医療合算介護サービス費・住宅改修費・福祉用具購入費・負担限度額認定・居宅サービス計画作成届等に係る消耗品購入、印刷費、郵送料) ・国民健康保険団体連合会への委託事務手数料(第三者行為求償事務・給付費伝送システム保守手数料)						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	給付管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	申請書郵送料		8,984
予算 (千円)	事業費計	12,413	12,733	14,718			金融機関への手数料		1,865
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	12,413	12,733	14,718					
決算 (千円)	事業費計	11,543	12,666			主な取組 内容 【R5】	・介護サービスに対する介護給付費等の支給に関する事務(消耗品購入、印刷費、郵送料) ・国民健康保険団体連合会への委託事務手数料(第三者行為求償事務・給付費伝送システム保守手数料)		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	11,543	12,666						
	(執行率)	93%	99%						
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	-	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・給付費の支払業務を適切に処理できたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護給付費の適切な支出のために、必要な経費であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	総務	連絡先	948-6840	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	松本 昌也	担当	上岡 修	

1.事業概要【Plan】

事業名 12121	知識普及啓発及び市民説明事業	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える福祉を充実する		—	—			
施策	高齢者福祉の充実		—	—			
主な取組	住み慣れた地域で暮らせる環境づくり	根拠 法令	介護保険法				
取組みの柱	在宅生活の支援						
目的・背景	平成12年4月から介護保険制度が開始されたことに伴い、市民や各団体、企業等に対し、当該制度の円滑な導入に向けた理解促進及び周知啓発と、介護保険制度を理解していただくことで、介護保険事業を適性に実施することを目的とする。						
対象・内容	対象は松山市民及び各団体、企業等。 内容として、介護パンフレットを作成し、市役所、各支所及び地域包括支援センター等を通じて市民等に配布している。 また、介護保険制度への理解及び周知啓発のため、市民等からの依頼に基づき、出張説明会を開催している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	種子普及費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	印刷製本費		1,399
予算 (千円)	事業費計	1,425	1,425	1,838					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,425	1,425	1,838					
決算 (千円)	事業費計	1,309	1,404			主な 取組 内容 【R5】	介護保険制度のパンフレット作製と出張説明会の開催。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	1,309	1,404						
	(執行率)	92%	99%						
人役	正規職員	3.0	3.0	2.0		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.0					
	合計	3.1	3.1	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	出張説明会の開催		目標	—	7	7	7	—	
			実績	1	7				
	現状維持	回	達成率	—	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	介護保険制度のパンフレットの作成等による周知啓発業務を適切に遂行できた。 感染対策を行いながら可能な範囲で実施することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、市民等に介護保険制度への理解及び周知啓発による介護保険事業の適正実施を行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	資格・賦課・収納	連絡先	948-6919		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	筒井 幸弘	担当	山内 美保	毛利 彩子	

1.事業概要【Plan】

事業名 13231	第一号保険料賦課調定検収事業	事業 性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業 区分	1:直営	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実		—	—	—		
主な取組	介護保険制度の充実	根拠 法令	介護保険法				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険制度の創設により平成12年度から実施している。 第一号被保険者の資格・賦課状況を適正に管理することにより、介護保険財政の健全化を図る。						
対象・内容	第一号被保険者(松山市に住所を有する65歳以上の者) 適正な介護保険料を定めることで、本市の介護保険事業の円滑な運営に資する。 1. 被保険者の資格管理 2. 介護保険料の賦課 3. 納入通知書の発行						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	賦課徴収費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	通信運搬費		12,173
予算 (千円)	事業費計	13,512	13,199	14,526					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	13,512	13,199	14,526					
決算 (千円)	事業費計	12,253	12,602			主な 取組 内容 【R5】	・被保険者の資格管理 ・介護保険料の賦課 ・納入通知書の発行		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	12,253	12,602						
	(執行率)	91%	95%						
人役	正規職員	4.5	5.0	4.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	4.5	5.0	4.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	賦課更正システム実行処理		目標	—	100	100	100	—	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	—	100				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に被保険者の資格管理や納入通知書の発行が行えたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	被保険者の資格管理や納入通知書の発行は介護保険事業の運営に必要な不可欠なため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	資格・賦課・収納	連絡先	948-6919	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	筒井 幸弘	担当	中川 貴彰	田崎 嘉一

1.事業概要【Plan】

事業名	第一号保険料収納管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—	—	—	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—	—	—	
施策	社会保障制度の充実	根拠法令	介護保険法				
主な取組	介護保険制度の充実						
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険制度の創設により平成12年度から実施している。 介護保険事業の健全な運営のため、第一号保険料にかかる収納管理、保険料未納者への督促、納付相談、滞納処分を行う。 また、特別徴収分について、年金保険者との情報交換を適切に処理し、収納消込を行う。						
対象・内容	第一号被保険者(松山市に住所を有する65歳以上の者) 適正な介護保険料を定めることで、本市の介護保険事業の円滑な運営に資する。 1.「第一号保険料賦課調定検収事業」で決定した保険料の収納 2. 未納保険料の督促と納付相談、滞納処分 3. 給付担当との給付制限の事務連携 4. 関係法令に基づく不納欠損処理 5. 納付証明書の発行						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	賦課徴収費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	通信運搬費		5,043
予算 (千円)	事業費計	12,095	12,361	12,379			手数料	3,330	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	2,000	2,550	2,590					
	一般財源	10,095	9,811	9,789					
決算 (千円)	事業費計	10,052	10,155			主な 取組 内容 【R5】	・保険料の収納 ・督促、納付相談、滞納処分 ・納付証明書の発行		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	2,819	1,768						
	一般財源	7,233	8,387						
	(執行率)	83%	82%						
人役	正規職員	4.5	5.0	4.5		特記 事項			
	その他	3.0	4.0	3.0					
	合計	7.5	9.0	7.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	保険料収納率		目標	98.00	98.00	98.00	98.00	時機を逸することなく督促、催告等を行ったことによる。	
			実績	98.73	98.88				
	現状維持	%	達成率	100.7%	100.9%				
活動指標	督促状等の発送		目標	11	11	11	11	保険料滞納者に対して督促状等を発送した。	
			実績	11	11				
	現状維持	月	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正に保険料の収納管理、証明発行、督促、催告が行えたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	保険料の収納管理は介護保険事業の運営に必要不可欠なため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定申請	連絡先	948-6841	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	平松 信裕	担当	篠原 陽三	森岡 博史

1.事業概要【Plan】

事業名	介護認定申請管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実		—	—			
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法、介護保険法施行規則				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険法に基づく要介護・要支援認定申請について、円滑に事務処理をすすめることを目的とする。 平成12年4月の介護保険制度開始に伴い、介護認定申請管理事業を開始した。						
対象・内容	(対象) 介護保険の給付を希望する松山市介護保険被保険者等 (内容) 要介護・要支援認定の新規申請・更新申請・区分変更申請等を受付処理し進捗管理を行う。 要介護・要支援認定者に対して、更新案内を通知する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	資格者証送付等郵便料 金		3,671
予算 (千円)	事業費計	4,997	5,626	5,216			更新申請案内はがき等 印刷費		698
	国費・県費	0	0	0			消耗品費		312
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	4,997	5,626	5,216					
決算 (千円)	事業費計	3,924	4,680			主な 取組 内容 【R5】	・要介護・要支援認定の新規申請・更新 申請・区分変更申請等を受付処理 ・要介護・要支援認定者に対して、更新案内 を通知		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	3,924	4,680						
	(執行率)	79%	83%						
人役	正規職員	1.0	1.0	2.5		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	1.5					
	合計	1.5	1.5	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	要介護・要支援認定申請 受付確認処理割合		目標	-	100	100	100	適正な事務処理を行い、確実に確認処理を行うことができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	-	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	申請管理を徹底し、適正な要介護認定につなげることができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	要介護・要支援認定申請の受付処理を円滑に行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定申請	連絡先	948-6841	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	平松 信裕	担当	山口 美晴	

1.事業概要【Plan】

事業名 13231	精度監視訪問調査事業	事業 性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業 区分	1:直営	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実		—	—			
主な取組	介護保険制度の充実	根拠 法令	介護保険法、介護保険法施行規則				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険法第27条等の規定に基づき、要介護・要支援認定にかかる認定調査を行う。 委託している認定調査の精度を確認し、技術的援助を行うことで、調査の質の向上と均一化を図り、適正な介護認定に資する。 介護保険制度の創設後、総務省からの勧告を受け、平成12年9月から実施している。						
対象・内容	(対象) 要介護・要支援認定の申請を行った松山市の介護保険被保険者のうち、委託先調査の適正化のため無作為抽出した者、認定結果に対し疑義がある等の理由で再度要介護認定等の申請をした者、心身の状況・生活環境等により緊急に訪問調査を行う必要がある者等。 (内容) 介護支援専門員等の資格を持つ市職員が、上記対象者の認定調査を行い、必要に応じて、調査結果を委託先(指定市町村事務受託法人の松山市社会福祉協議会)調査員にフィードバックする。 市調査員は、委託先調査員に対し、個々のレベルに応じた同行調査等の研修を行い、調査技術の向上を図る。 愛媛県が行う現任研修等を受講し、調査項目の判断について委託先調査員と共有することで調査の平準化を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	住宅地図等消耗品費		82
予算 (千円)	事業費計	497	301	353			公用車(原付)修繕料	ガソリン代等燃料費	45
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	497	301	353				29	
決算 (千円)	事業費計	292	180			主な 取組 内容 【R5】	・要介護・要支援認定のための訪問調査 ・委託先調査員への助言・指導		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	292	180						
	(執行率)	59%	60%						
人役	正規職員	2.5	1.0	2.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.5	1.0	2.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	要介護認定申請に対する不服申請割合		目標	1.00	1.00	1.00	1.00	精度調査員による委託先調査員への継続した技術的指導等の成果があったため。	
			実績	0.27	0.26				
	現状維持	%	達成率	173.0%	174.0%				
活動指標	認定調査員への研修回数		目標	-	-	3	3		
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	委託先調査員への技術的助言を通じて、調査員の資質向上が図れており、適正な介護認定につなげることができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定審査会の判定資料となる認定調査業務を適正に実施する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定申請	連絡先	948-6841		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	平松 信裕	担当	越智 茂樹	井上 尊敬	

1.事業概要【Plan】

事業名	訪問調査委託事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法、介護保険法施行規則				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険法第27条等の規定に基づき、要介護・要支援認定の判定資料となる認定調査及び主治医意見書の依頼・回収業務を行う。上記業務は、介護保険制度の創設を受けて、平成11年度(準備期間)から実施しており、認定調査等の事務を効率よく実施するため、指定市町村事務受託法人(介護保険法第24条の2の規定に基づき、愛媛県が指定した、要介護認定調査事務を適正に運営することができると認められた法人)である松山市社会福祉協議会へ委託している。						
対象・内容	(対象) 要介護・要支援認定の申請を行った松山市介護保険被保険者。 (内容) 指定市町村事務受託法人である松山市社会福祉協議会に認定調査を一括委託する。 本協議会は、介護保険のサービスの提供を行わない認定調査専門機関で、要介護・要支援認定の申請区分(新規・変更・更新)を問わず、調査を行うことができる。 また、主治医意見書の依頼・回収業務も委託している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	要介護認定訪問調査委託料		204,427
予算 (千円)	事業費計	217,000	217,833	234,412					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	217,000	217,833	234,412					
決算 (千円)	事業費計	180,203	204,427			主な 取組 内容 【R5】	・要介護・要支援認定のための訪問調査の委託 ・主治医意見書の依頼・回収業務の委託		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	180,203	204,427						
	(執行率)	83%	94%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	社協調査員による 認定調査件数		目標	-	29,580	28,000	28,000	認定調査を必要とする申請者の増加があつたことに加え、訪問調査員の確保が難しかった。	
			実績	18,350	27,848				
	現状維持	件	達成率	-	94.1%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	調査専門機関への継続委託により、適正な認定調査や事務の効率化が図れている。							
課題	認定調査を必要とする申請者数の増加に伴い、訪問調査員の不足が課題となっているほか、調査事務効率化のため、認定調査時に使用するタブレット端末の導入についても検討が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定審査会の判定資料となる認定調査を適切に実施する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定申請	連絡先	948-6841	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	平松 信裕	担当	山口 美晴	

1.事業概要【Plan】

事業名	住所地特例等訪問調査委託事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託		
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		—	—	—	—		
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		根拠法令	介護保険法、介護保険法施行規則				
施策	社会保障制度の充実							
主な取組	介護保険制度の充実							
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施							
目的・背景	介護保険法第27条第2項等の規定に基づき、要介護・要支援認定にかかる認定調査を行う。 介護保険制度の創設を受けて、平成11年度(準備期間)から認定調査を実施している。							
対象・内容	(対象) 要介護・要支援認定の申請を行った他市町村に居住する松山市の介護保険被保険者(住所地特例対象施設に入所している者、住民票を松山市に置いたまま遠隔地に居住している者) (内容) 被保険者が居住する市町村、指定市町村事務受託法人、居宅介護支援事業所等に、認定調査を委託する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	住所地特例等要介護認定訪問調査業務委託料	558	
予算 (千円)	事業費計	918	920	887			郵便料金	107	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	918	920	887				消耗品費	7
決算 (千円)	事業費計	598	672			主な 取組 内容 【R5】	・要介護・要支援認定のための訪問調査の委託		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	598	672						
	(執行率)	65%	73%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	他市依頼調査 確認処理割合		目標	-	100	100	100	適正な事務処理を行い、確実に確認処理を行うことができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	-	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	他市依頼調査が必要な者へ認定調査の委託を行い、適正な要介護認定につなげることができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定審査会の判定資料となる認定調査の委託が必要不可欠なため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定申請	連絡先	948-6841		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	平松 信裕	担当	越智 茂樹	井上 尊敬	

1.事業概要【Plan】

事業名	主治医意見書作成手数料支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営		
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標			—	—	—	—		
政策			生涯にわたって安心な暮らしをつくる					
施策			社会保障制度の充実					
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法、介護保険法施行規則					
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施							
目的・背景	(目的)介護保険法第27条第3項等の規定に基づき、認定申請を行った被保険者について、心身上又は精神上の障害の原因である疾病・負傷の状況について、医師の立場から介護の必要性の意見を求める。 (背景)平成12年からの介護保険制度の創設による。							
対象・内容	(対象) 要介護・要支援認定の申請を行った松山市介護保険被保険者の主治医意見書を記入する医療機関等 (事業内容) ・要介護・要支援申請のあった被保険者の主治医または指定医に対して、意見書の作成依頼を行う。 ・作成された意見書について、内容を確認後、認定審査会資料として使用する。 ・医療機関に作成料を支払う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	主治医意見書作成手数料		135,997
予算 (千円)	事業費計	134,813	146,200	133,986			郵便料金等	667	
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	134,813	146,200	133,986		消耗品費	160		
決算 (千円)	事業費計	90,178	136,889			主な 取組 内容 【R5】	・主治医または指定医に対する意見書の 記入依頼 ・意見書作成料の支払い		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	90,178	136,889						
	(執行率)	67%	94%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	意見書記載内容 確認割合		目標	-	100	100	100	適正な事務処理を行い、確実に確認処理を行うことができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	-	100.0				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	意見書記載内容について遺漏の無いよう確認を徹底し、適切に処理できた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定審査会の判定資料となる主治医意見書の作成依頼処理を、適切に行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	要介護認定審査会	連絡先	948-6926	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	梶原 優	担当	山本 佐知	

1.事業概要【Plan】

事業名	介護認定審査会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】						
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実	根拠法令	介護保険法				
主な取組	介護保険制度の充実						
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護保険法第14条の規定に基づき介護認定審査会を運営し、公平・公正かつ適正な審査判定を行うことで、審査対象者の要介護及び要支援認定を適正に行う。						
対象・内容	対象 ・65歳以上の市民及び特定疾病により介護や支援が必要になった40歳以上65歳未満の医療保険加入者 内容 ・介護認定審査会の実施運営及び事務局運営(介護認定審査会の合議体編成、審査会開催案内、委員関係の調整、委員報酬支払、認定審査会資料作成、審査対象者へ認定結果通知及び被保険者証の発行、要介護認定に関する苦情対応・情報提供等) ・介護認定審査会委員の委嘱、解嘱に関すること ・公平・公正かつ適正な審査判定を行うため審査会委員への周知啓発及び研修等						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	認定審査会費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委員報酬		64,740
予算 (千円)	事業費計	67,076	76,355	70,627			通信運搬費(委員会資料、被保険者証等送付)	5,855	
	国費・県費	0	0	0			印刷製本費(被保険者証、封筒等)	740	
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	67,076	76,355	70,627					
決算 (千円)	事業費計	48,542	71,875			主な 取組 内容 【R5】	介護認定審査会の実施運営及び事務局運営(資料作成、委員への連絡対応、委員報酬支払、審査対象者へ認定結果通知及び被保険者証の発行等)		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	48,542	71,875						
	(執行率)	72%	94%						
人役	正規職員	6.0	6.0	6.0		特記 事項			
	その他	1.0	0.0	2.0					
	合計	7.0	6.0	8.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	介護認定審査会の開催		目標	-	100	100	100	-	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	-	100				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	介護認定審査会を開催し、適正に審査判定を行うことができた。							
課題	今後、認定審査会委員委嘱及び総会開催に向けて遺漏なく準備事務を遂行する必要がある。また、介護認定審査会の効率化に向けて、関係団体との調整を図りつつ、ICTを使用した資料のペーパーレス化やオンライン審査会の導入を進める必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	必要な介護給付の実施のために、介護認定審査会を適正に運営し、対象者の要介護・要支援認定を速やかに行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	高橋 通夫

1.事業概要【Plan】

事業名	介護サービス等諸費支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金		
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		—	—	—	—		
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		根拠法令	介護保険法第41条				
施策	社会保障制度の充実							
主な取組	介護保険制度の充実							
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施							
目的・背景	要介護認定によって、介護が必要とされた要介護者に対し実施される介護サービスの費用を負担する(平成12年度から実施)。							
対象・内容	≪対象≫ 要介護認定によって、介護が必要とされた要介護者 ≪内容≫ (現物給付) サービスを提供した事業者に対し、国保連を通じて、給付費を支払う。 (償還払い) 住宅改修費・福祉用具購入費について、申請者に対し、給付費を支払う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	介護サービス等諸費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	介護サービス等諸費 負担金		42,707,236
予算 (千円)	事業費計	43,500,000	43,700,000	44,714,000					
	国費・県費	16,747,500	16,824,500	17,214,889					
	市債	0	0	0					
	その他	20,422,034	20,505,912	20,963,847					
	一般財源	6,330,466	6,369,588	6,535,264					
決算 (千円)	事業費計	41,683,821	42,707,236			主な 取組 内容 【R5】	介護サービス費用を事業者に支給 福祉用具購入費等を対象者に償還払い		
	国費・県費	16,103,963	16,418,831						
	市債	0	0						
	その他	20,370,594	20,058,182						
	一般財源	5,209,264	6,230,223						
	(執行率)	96%	98%						
人役	正規職員	2.6	2.6	2.6		特記 事項			
	その他	0.8	0.8	0.8					
	合計	3.4	3.4	3.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・介護サービス等諸費の支払業務を適切に処理できたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定を受けている者に対し、適切に給付を行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	高橋 通夫

1.事業概要【Plan】

事業名	介護予防サービス等諸費支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		－	－			
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実	根拠法令	介護保険法第53条				
主な取組	介護保険制度の充実						
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	日常生活に支援が必要とされた要支援者に対し、要介護に移行しないための予防給付として在宅サービス等を実施する費用を負担する(平成18年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ 要介護認定によって、日常生活に支援が必要とされた要支援者 ≪内容≫ (現物給付)サービスを提供した事業者に対し、国保連を通じて、給付費を支払う。 (償還払い)住宅改修費・福祉用具購入費について、申請者に対し、給付費を支払う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	介護予防サービス等諸費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	介護予防サービス等諸費 負担金		1,908,357
予算 (千円)	事業費計	2,020,000	1,921,000	2,025,000					
	国費・県費	777,700	739,584	779,624					
	市債	0	0	0					
	その他	989,800	941,291	992,251					
	一般財源	252,500	240,125	253,125					
決算 (千円)	事業費計	1,839,522	1,908,357			主な 取組 内容 【R5】	介護予防サービス費用を事業者に支給 福祉用具購入費等を対象者に償還払い		
	国費・県費	710,813	733,928						
	市債	0	0						
	その他	898,769	935,884						
	一般財源	229,940	238,545						
	(執行率)	91%	99%						
人役	正規職員	2.6	2.6	2.6		特記 事項			
	その他	0.7	0.7	0.7					
	合計	3.3	3.3	3.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・介護予防サービス等諸費の支払業務を適切に処理できたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護認定を受けている者に対し、適切に給付を行う必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	高橋 通夫

1.事業概要【Plan】

事業名	審査支払手数料支払事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	7:その他	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—			
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法第176条				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	国民健康保険団体連合会(国保連)に委託している居宅介護サービス費等の請求に関する審査支払事務にかかる費用の支払いを行う(平成12年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫愛媛県国民健康保険団体連合会 ≪内容≫市から国保連に対し、介護給付費等の審査にかかる手数料を支払う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	審査支払手数料
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	審査支払手数料		62,144
予算 (千円)	事業費計	61,000	63,000	64,000					
	国費・県費	23,485	24,255	24,640					
	市債	0	0	0					
	その他	29,890	30,870	31,360					
	一般財源	7,625	7,875	8,000					
決算 (千円)	事業費計	60,280	62,144			主な 取組 内容 【R5】	審査支払手数料を支払う		
	国費・県費	23,293	23,900						
	市債	0	0						
	その他	29,452	30,476						
	一般財源	7,535	7,768						
	(執行率)	99%	99%						
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・審査支払手数料の支払業務を適切に処理できたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	適切な介護給付を行うために、必要な審査であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6885		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	連 由佳	船原 奨太	

1.事業概要【Plan】

事業名	高額介護サービス等費支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法第51条				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	要介護(要支援)者が介護(介護予防)サービスを利用し、1か月に支払った利用者負担額が一定の上限額を超えた場合、申請に基づき高額介護(介護予防)サービス費を支給し、利用者負担の軽減を図る(平成12年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ 介護(介護予防)サービスを利用し、1か月に支払った利用者負担額が一定の上限額を超えた要介護(要支援)者 ≪内容≫ 市から対象者に対し、高額介護(介護予防)サービス費の支給を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	高額介護サービス等費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	高額介護サービス等費負担金	1,268,688	
予算 (千円)	事業費計	1,350,000	1,320,000	1,385,000					
	国費・県費	519,750	508,200	533,225					
	市債	0	0	0					
	その他	661,500	646,800	678,650					
	一般財源	168,750	165,000	173,125					
決算 (千円)	事業費計	1,232,254	1,268,688			主な 取組 内容 【R5】	対象者に高額介護サービス等の費用を支給		
	国費・県費	476,157	487,920						
	市債	0	0						
	その他	602,065	622,182						
	一般財源	154,032	158,586						
	(執行率)	91%	96%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・高額介護サービス等費の支払業務を適切に処理できたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	高額介護(介護予防)サービスを適切に支給する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	高橋 通夫

1.事業概要【Plan】

事業名	特定入所者介護サービス等費支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		－	－			
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実	根拠法令	介護保険法第51条の3				
主な取組	介護保険制度の充実						
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	施設サービス及び短期入所サービスを利用する際、利用者が負担する食費、居住費(滞在費)について、低所得者に対しては段階に応じた負担限度額が設けられており、その限度額を超えた分について、特定入所者介護サービス費等として補足給付(現物給付)する(介護保険制度改正により、平成17年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ 市県民税非課税世帯(別世帯の配偶者も非課税)であり、預貯金等の資産が一定額以下の者・生活保護受給者 ≪内容≫ 市は、申請により、対象者に負担限度額認定証を交付する。この認定証を施設に提示することにより、負担限度額までの支払いとなる。各施設に対しては、介護給付費等と合わせて、補足給付(食費・居住費の基準費用額と負担限度額の差額)を支払う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	特定入所者介護サービス等費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	特定入所者介護サービス 等費負担金		879,322
予算 (千円)	事業費計	1,302,000	980,000	926,000					
	国費・県費	501,270	377,300	356,509					
	市債	0	0	0					
	その他	637,980	480,200	453,741					
	一般財源	162,750	122,500	115,750					
決算 (千円)	事業費計	904,411	879,321			主な 取組 内容 【R5】	施設に対して特定入所者介護サービス等を 支給		
	国費・県費	349,475	338,175						
	市債	0	0						
	その他	441,885	431,231						
	一般財源	113,051	109,915						
	(執行率)	69%	90%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	3.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・特定入所者介護サービス等費の支払業務を適切に処理できたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	負担限度額認定を受けた者について、限度額を超えた利用分について、適切に給付する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6885		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	山田 志穂	松井 優	

1.事業概要【Plan】

事業名	高額医療合算介護サービス等費支払事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる						
施策	社会保障制度の充実		—	—	—	—	
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法第51条の2				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	医療保険、介護保険の両給付を受けることにより、自己負担額が著しく高額になる場合に、医療・介護を通じた一定の負担上限額を適用し、高額医療合算介護(介護予防)サービス費を支給し、利用者負担額を軽減するとともに、両給付の適切かつ効率的な提供を図る。						
対象・内容	≪対象≫ 医療保険・介護保険の両給付を受けることにより、自己負担額が著しく高額になる要介護(要支援)者 ≪内容≫ 対象者に対し、高額医療・高額介護合算制度の自己負担限度額を超える金額の支払いを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	保険給付費	項	保険給付費	目	高額介護合算介護サービス等費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	高額医療合算介護サービ ス等費負担金	203,511	
予算 (千円)	事業費計	215,000	220,000	210,000					
	国費・県費	82,775	84,700	80,850					
	市債	0	0	0					
	その他	105,350	107,800	102,900					
	一般財源	26,875	27,500	26,250					
決算 (千円)	事業費計	204,140	203,511			主な 取組 内容 【R5】	対象者に高額医療合算介護サービス費の 費用を支給		
	国費・県費	78,882	78,268						
	市債	0	0						
	その他	99,740	99,804						
	一般財源	25,518	25,439						
	(執行率)	95%	93%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	適切な処理(支払)回数		目標	12	12	12	12	ダブルチェック等を行い適切に支払うことができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・高額医療合算介護サービス等費の支払業務を適切に処理できたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	医療保険と介護保険の両給付を受けることにより、自己負担額が著しく高額になる場合に、適切にサービス費を支給する必要があるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6885		
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	阿部 梓	松本 紗織	

1.事業概要【Plan】

事業名	住宅改修支援事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		—	—	—	—	
施策	社会保障制度の充実						
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	介護保険法第45条、地域支援事業実施要項、松山市介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修支援費支給要綱				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	居宅介護支援事業者等の介護支援専門員等が行う業務のうち、介護報酬で対応することができない住宅改修費支給申請に係る理由書作成業務について、居宅介護支援事業所等に対して支援費を支給することにより、利用者の円滑なサービス受給を図る。(平成12年度から実施)。						
対象・内容	≪対象≫ 住宅改修の活用を希望する要介護(支援)被保険者で、居宅介護(介護予防)支援を受けていない者に対して、当該者の住宅改修費の支給申請に係る必要な書類を作成した者 ≪内容≫ 住宅改修の理由書を作成した居宅介護(介護予防)支援事業者等に対し、住宅改修支援費を支払う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	地域支援事業費	項	地域支援事業費	目	包括的支援事業・任意事業費	
事業費／財源		令和4年度		令和5年度		令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	住宅改修支援費	252
予算 (千円)	事業費計	274	294	282						
	国費・県費	157	169	162						
	市債	0	0	0						
	その他	65	69	66						
	一般財源	52	56	54						
決算 (千円)	事業費計	266	252			主な取組 内容 【R5】	住宅改修の理由書を作成した介護支援専門員が所属する居宅介護支援事業者等に対して、住宅改修支援費を支給			
	国費・県費	154	146							
	市債	0	0							
	その他	61	58							
	一般財源	51	48							
	(執行率)	97%	86%							
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記事項				
	その他	0.1	0.1	0.1						
	合計	0.3	0.4	0.4						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	住宅改修支援費支給件数		目標	120	130	130	130	事業者説明会等で、制度の周知を行ったことにより、各法人の利用が促進されたため。	
			実績	133	126				
	現状維持	件	達成率	110.8%	96.9%				
活動指標	包括支援センターへの周知施設数		目標	13	13	13	13		
			実績	13	13				
	現状維持	か所	達成率	100.0%	100.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業者説明会等を通じて、制度の周知を図っているため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	介護報酬で対応できない住宅改修費請求時の理由書作成について、利用者の円滑なサービス受給に必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	介護保険課	担当G	介護給付	連絡先	948-6924	
部長等名	富田 定伸	課等長名	吉野 久行	リーダー	宇都宮 裕樹	担当	大野 美保	松本 紗織

1.事業概要【Plan】

事業名	介護給付適正化事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	1:直営	
13231							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる		○	－			
施策	社会保障制度の充実						
主な取組	介護保険制度の充実	根拠法令	「第5期介護給付適正化計画」に関する指針について 第5期愛媛県介護給付適正化プログラム				
取組みの柱	介護保険事業の円滑な実施						
目的・背景	介護サービスを必要とする者(受給者)を適切に認定した上で、受給者が真に必要なサービスを事業者がルールに従って適正に提供するよう促し、結果、利用者の自立支援に必要なサービスが的確に給付される一方で、不適切なサービス給付が削減されることになり、制度に対する信頼感を高めるとともに、給付費や介護保険料の増大を抑制することで、持続可能な介護保険制度の構築を目指すことを目的とする。(平成20年度から実施)。						
対象・内容	「対象」 ・縦覧点検・介護と医療の給付実績の突合・介護給付費通知 「内容」・介護給付適正化システムを活用した縦覧点検・介護と医療の給付実績の突合を国民健康保険団体連合会に委託することにより、不適切な給付の確認を行い、是正を図る。 ・介護給付費通知を作成し、サービス利用者に給付状況の通知を行うことにより、不正請求(架空請求、過剰請求等)の防止を図るとともに、利用者へのコスト意識の啓発を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	介護保険事業特別会計	款	地域支援事業費	項	地域支援事業費	目	包括的支援事業・任意事業費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	縦覧点検支援業務手数料等		3,753
予算 (千円)	事業費計	6,114	6,227	4,446			ケアプラン指導研修委託料		300
	国費・県費	3,529	3,595	2,566					
	市債	0	0	0					
	その他	1,409	1,434	1,025					
	一般財源	1,176	1,198	855					
決算 (千円)	事業費計	5,777	5,897			主な 取組 内容 【R5】	・縦覧点検、介護と医療の給付実績の突合 ・介護給付費通知 ・訪問介護ケアプラン検討会議 ・ケアプラン点検		
	国費・県費	3,336	3,434						
	市債	0	0						
	その他	1,329	1,318						
	一般財源	1,112	1,145						
	(執行率)	94%	95%						
人役	正規職員	0.1	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	介護と医療の突合件数		目標	740,000	750,000	760,000	760,000	介護報酬の請求件数の増加による	
			実績	772,421	797,008				
	累計で増	件	達成率	104.4%	106.3%				
成果指標	適正化した金額		目標	3,000	3,000	3000	3000	各事業所が想定よりも適正な請求を行っていたことによる	
			実績	1,664	1,781				
	現状維持	千円	達成率	55.5%	59.4%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	介護と医療の突合の効果額は目標額に達していないものの、突合件数は、目標を上回り、年々増加している。 また、各事業所による適正な請求につながるなど、介護給付の適正を図ることができた。							
課題	特になし					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	介護給付費通知について、費用対効果等が見込みづらいことから、厚生労働省の見直しに併せて、令和6年度から廃止します。